

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		環境園芸学科		
科目名称	教職概論						授業形態		講義	
科目コード	750064	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員			アクティブ ラーニング	○
担当教員名	植村 秀人								ICT活 用	○
授業概要	教育職員免許法では、教員免許状取得のためには、「教職の意義などに関する科目」の履修を課している。教員の仕事を考えるときに現代は、教員の協力が重視されている。これは、同一校種間だけでなく、同校種間や異なる校種間に置いて同じである。本科目では、学校間の連携の視点も含め教師の仕事について学ぶこととする。このことによって、中学校、高校、栄養教諭という狭い範囲だけでなく、日本の公教育全体における教諭の役割を踏まえた教師の資質を育てることにつながる。また、本講義は、教職課程導入科目である。このため、教育職員免許法で指定されている内容は当然行うが、上記の中でも重要な3年6カ月間の学習に必要な、教職への意識や意欲を形成し高めることも目的とする。									
関連する科目	教職課程関連科目を履修すること。また、教職課程資格審査及び今後の履修を考慮して前期履修状況を良好とするよう努力していただきたい。本科目受講後は、教職課程開講科目教育学概論や取得免許に関係する学科専門科目等を履修要項に基づいて履修していくこととする。									
授業の進め方 と方法	本授業は、オンデマンド講義と対面講義を組み合わせて実施する。 受講生は、オンデマンド型講義を11回事前に視聴・課題提出する。その後、対面授業を9月29日(水)【予定】1～4時間目に都城キャンパスで実施する。 オンデマンド型授業はMoodleによる授業動画の視聴による実施とし、対面型授業は夏休みの集中講義として1日で4回分を実施します。それらを踏まえて以下の点、確認してください。 オンデマンド型授業 1. オンデマンド型授業は、Moodleによる授業動画の視聴で実施とする。 2. 動画は、5月以降随時(第1回から第11回相当)配信する。									
授業計画 【第1回】	オリエンテーション・教員になるために(テキスト第1章) 教員の意義や教員を目指す上での留意点を中心に取り扱う。 また、教職を目指す学生にとって必要な法令順守なども含めた姿勢について取り扱う。									
授業計画 【第2回】	教員養成の歴史(テキスト第2章) 教員に求められる資質能力の変化から教員養成のあり方も変わってきたことを中心に取り扱う。									
授業計画 【第3回】	教員採用選考試験(テキスト第3章) 教員の採用試験の概要、近年の傾向と対策について通信に取り扱う。									
授業計画 【第4回】	学び続ける教師(テキスト第4章) 教員育成指標を中心に取り扱い、研修やキャリア形成について考える。									
授業計画 【第5回】	校務分掌と教員組織、チーム学校(テキスト第5章及び第6章)									
授業計画 【第6回】	教員の一日、教員に求められる事務能力(テキスト第7章および第9章)～ 教員の仕事の概要について取り扱う。									
授業計画 【第7回】	教員の服務と法規上の留意点(テキスト第8章) 教員の服務・身分保障を中心に取り扱う。									
授業計画 【第8回】	教員に関する法律(独自資料) 学校教育法における教諭・栄養教諭を含む教職員の規定を中心に取り扱う。									
授業計画 【第9回】	学級運営、児童生徒への対応(テキスト第10章及び第11章)									
授業計画 【第10回】	保護者への対応、いじめと不登校、学校安全(テキスト第12章～第14章) 保護者への対応(児童虐待や子どもの貧困を含む)、いじめと不登校問題、学校の安全問題を取り扱う。									

授業計画 【第11回】	教職の今後に向けて、対面型授業に向けた準備(テキスト第15章) オンデマンド型授業のまとめ、教員育成指標、対面型授業に向けた課題設定などについて説明する
授業計画 【第12回】	教員として必要な資質とは何か？①（議論） 教員として必要な資質について考えグループで議論する。
授業計画 【第13回】	教員として必要な資質とは何か？②（まとめる） 教員として必要な資質についての考えをグループでまとめる。
授業計画 【第14回】	教員として必要な資質とは何か？③（発表と考えの深化） 教員として必要な資質についての考えをグループ毎に発表し、考えを深める。
授業計画 【第15回】	卒業生講演及び授業のまとめ 卒業生からの講演を聞き授業で学んだことを深める。授業をまとめる。
授業の到達目標	①教員の仕事内容と仕事の特性について理解する。 ②教職の専門性について理解する。 ③教員と関連する法令について理解する。 特に、学校教育法および教育公務員特例法・地方公務員法の関連条文を理解する。 ④ 現代教育の課題と教員の役割について理解する。 特に、いじめ・体罰・児童虐待・児童の貧困問題への理解、近年の教育改革の同校と教員の資質向上など。 ⑤ ①～④を踏まえ教職課程の受講者としての姿勢を考え、教員免許取得だけでなく教員として必要な資質について理解する。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)
授業時間外学習【予習】	1. 事前にテキスト（第1章から第15章）を読み理解すること（各章1時間程度）。 2. グループワークの資料を準備すること（1時間）。
授業時間外学習【復習】	1. ミニレポート作成（オンデマンド型授業毎に各1時間程度計11時間程度） 2. テキスト・配付資料などの振り返り（8時間） 3. 最終レポート作成(3時間程度)
課題に対する フィードバック	紙媒体の提出物は、返却する。この際に評価のポイントなどを簡潔に説明する。
評価方法・基準	①オンデマンド型授業のミニレポート 55点(11回×5点) ②対面型授業講義グループワーク 20点 ③対面型授業感想文 10点 ④最終レポート 15点 注意
テキスト	「教職論」ミネルヴァ書房、 広岡義之 監修・編著、林泰成・貝塚茂樹・津田徹 編著、2021年11月25日、ISBN9784623089567、定価2,640円(本体2,400円+税)。
参考書	『教職概論 教師の仕事の本質と実際』 「教職概論 第4次改定版 ?教師を目指す人のために?」 佐藤晴雄 学陽書房 教育制度論、教育六法 田中克佳 教育史 加野芳正 新しい時代の教育社会学 【オンデマンド講義について】
備考	動画資料は、令和7年度作成分を含みます。必要な回については、差し替えますが令和7年度版で視聴いただく事があります。ご了解ください。